





三原市はもっと積極的なPRをするべき

# 新春対談

# 活気溢れる三原を目指して!

三原市にある豊富な資源の有効活用が必要



**市長** 今年は三原城が築城されて450年という節目の年ですが、三原JCも節目の年だと思っています。

**理事長** 三原JC創立50周年です。それを踏まえて、2012年度は「原点回帰」をスローガンとして活動してゆこうと考えています。

### 東日本大震災を経て

**理事長** 2011年3月11日に起こった東日本大震災では多くの方が被災されました。三原JCも義援金を募ったり、東北地方を支援するための物品販売を2度行なった。実際に現場に出向きボランティア活動を行なっています。また、11月には若手県大植町に出向き、小学校へ義援金をお渡ししました。

**市長** 東日本大震災では大きな被害が発生しましたが、日本全体で息の長い支援を行なっていくことが必要だと感じています。

### 三原市の経済活性化のために

**理事長** 震災によって東北地方で活動している企業にも多くの被害が発生しました。企業にとって安全が改めて重要な要素となっているのではないかと考えます。三原は幸い天災が少なく企業にとっては魅力のある場所なのではないでしょうか。

**市長** 三原には三原西部工業団地、久井や大和の工業団地があります。災害が少なく、交通の便がよく、水が豊富な三原は、企業誘致に有利ではないかと考えています。

**理事長** もっと企業にPRを行なっていく必要があるのではないのでしょうか。

**市長** 昨年、経済界から3名の方をふるさと大使に任命いたしました。さまざまな場面で企業にとっての三原の魅力がPRできていたればよいのではないかと考えています。

**理事長** 三原の経済が活性化することが、まちが元気になる要素であり、また雇用が確保されていることも重要だと思っています。特に20代から40代のJC世代が元気になればなりません。

**市長** これからは少子高齢化が予想されているので、もちろん現役世代が元気でないといけません。また、高齢者にも住みやすいまちを目指していかなければならないと思います。



### 市民が思い描く三原市にするためには

**理事長** 昨年、三原で初めての市民討議会を開催しました。いままでの手法では限られた市民の声しか集めることができません。しかし、市民討議会では市民がテーマをもとに話し合うことにより、素晴らしい意見が出てきており「まちづくりのマーケティング」という意味でも有効だと考えます。今後も継続して市民討議会を開催する上で、行政の協力があれば、もっと多くの方の意見を聞くことができます。市民討議会は素晴らしい効果を発揮するかと考えます。

**市長** 市民討議会では、市民の本音がたくさん聞くことができるでしょうね。現在、市民の声を多く集めていただいているが、市民討議会による意見の取り上げなどを、JCが行なっているだけでは、とてもありがたいことです。

### 市民の声を活かそう

**理事長** 長年、三原JCは「協働のまちづくり」を提唱し活動して参りましたが、すべてを協働で行なうのではなく、それぞれの仕事を割り振りして行く必要があります。

**市長** 特に健康づくりや環境美化での協働を進めていきたいです。協働の形は様々ですが、消防



### 三原を活性化ける中高生たち

**理事長** 昨年、子どもたちに自立心と協調性を育てるために、中高生が主体となった「ヤっさチルドレン」を結成し、やっさりでは2つのイベントを行なうことが出来ました。そして、三原JC(※1)が立ち上がり、今後も子どもたち独自で活動する機会が増えていくと考えます。そのような活動を通じて、子どもたちが育つことを願っていますが、その子どもたちに対して行政からの協力が得られれば、もっと様々な活動が出来るかと考えます。

**市長** 行政からの支援については、まずどのような支援が必要なのかを具体化していただくことが重要です。子どもたちに関することは、学校教育の分野と青少年健全育成の二つの分野から考えることができます。



**理事長** 子どもたちが活動することで、三原の人たちと接する場面が多くなると思います。そうすることで三原との縁を深めて、将来の三原を背負ってゆける人材に育ってもらえればうれしく思います。

※1 三原JC(ユニテッドチルドレン)

三原を舞台にどんな挑戦をしていくかを自分たちで考え、自分たちで前を上げる「UOプロジェクト」に取り組む。仲間たちとプロジェクトに挑戦する中で友情を育み、社会での貴重な体験を得て「未来の日本・世界を動かす人」への成長を目指している。

### 中心市街地活性化の方向性は

**理事長** 昨年の「やっさもっさ」において、中心市街地についてのさまざまな提案をさせていただきましたが、三原が元気になるために中心市街地の活性化が必要になってくるかと考えます。さまざまな視点からとらえる必要がありますが、市長はどのような方向性で中心市街地の活性化を考えていますか。

**市長** 人の入りの多い三原駅を中心とした地域を商業・観光を一体で開発していく必要があると思います。三原駅の北側には三原城址を含め、たくさんの歴史文化資源がありますので有効活用していきたいですし、三原駅の南側には人が集まる賑わいが生まれるようなまちづくりをしたいと思っています。港については駅の近く近くにあるということは、他のまちにはない特徴です。三原内港だけではなく大型船の停泊出来る内港や松浜港も含めて活かしていく必要があります。



### 中心市街地の建築に一定のルールを

**理事長** 京都などで景観を保つために条例を制定しています。三原でも中心市街地の景観を整えるために、建築する際に一定のルールを設けるという考え方もあります。

**市長** まずは三原の中心市街地をどのようにしていくかを検討することが重要で、その中で景観について一定のルールが必要となれば、条例をつくって統一していくということも一つの手法であると思います。ともかく、将来を見据えてまちづくりを考えることが一番重要ではないでしょうか。



### 積極的な訴えかけを切に願う

**理事長** 鳥取県米子市においては、中心市街地活性化が盛んに行なわれており、米子農工会議所の建物看板を設置するなどして市民に向かってPRを行なっています。三原でも中心市街地活性化のために市民にもっと訴えかけてはどうでしょうか。

**市長** ささまざまなPR方法があると思いますので、参考できるものは積極的に実施していきたいと考えています。「私は三原の人間でありたい」と他に誇れるようになること、そして素晴らしい人材が生み出せること、そして思われた資源を活かしていくことが重要だと思います。そんなまちをつくっていくために、三原JCのお力を借りていきたいと思っています。

**理事長** 市民に伝わりやすいPRはとても重要だと思います。私たちも、三原が誇るまちになるためにも、さまざまな活動を通じて三原を盛り上げてゆきたいと思っています。

三原市役所	三原市立第一中学校	三原市立第二中学校	三原市立第三中学校	三原市立第四中学校	三原市立第五中学校	三原市立第六中学校	三原市立第七中学校	三原市立第八中学校	三原市立第九中学校	三原市立第十中学校	三原市立第十一中学校	三原市立第十二中学校	三原市立第十三中学校	三原市立第十四中学校	三原市立第十五中学校	三原市立第十六中学校	三原市立第十七中学校	三原市立第十八中学校	三原市立第十九中学校	三原市立第二十中学校	三原市立第二十一中学校	三原市立第二十二中学校	三原市立第二十三中学校	三原市立第二十四中学校	三原市立第二十五中学校	三原市立第二十六中学校	三原市立第二十七中学校	三原市立第二十八中学校	三原市立第二十九中学校	三原市立第三十中学校	三原市立第三十一中学校	三原市立第三十二中学校	三原市立第三十三中学校	三原市立第三十四中学校	三原市立第三十五中学校	三原市立第三十六中学校	三原市立第三十七中学校	三原市立第三十八中学校	三原市立第三十九中学校	三原市立第四十中学校	三原市立第四十一中学校	三原市立第四十二中学校	三原市立第四十三中学校	三原市立第四十四中学校	三原市立第四十五中学校	三原市立第四十六中学校	三原市立第四十七中学校	三原市立第四十八中学校	三原市立第四十九中学校	三原市立第五十中学校	三原市立第五十一中学校	三原市立第五十二中学校	三原市立第五十三中学校	三原市立第五十四中学校	三原市立第五十五中学校	三原市立第五十六中学校	三原市立第五十七中学校	三原市立第五十八中学校	三原市立第五十九中学校	三原市立第六十中学校	三原市立第六十一中学校	三原市立第六十二中学校	三原市立第六十三中学校	三原市立第六十四中学校	三原市立第六十五中学校	三原市立第六十六中学校	三原市立第六十七中学校	三原市立第六十八中学校	三原市立第六十九中学校	三原市立第七十中学校	三原市立第七十一中学校	三原市立第七十二中学校	三原市立第七十三中学校	三原市立第七十四中学校	三原市立第七十五中学校	三原市立第七十六中学校	三原市立第七十七中学校	三原市立第七十八中学校	三原市立第七十九中学校	三原市立第八十中学校	三原市立第八十一中学校	三原市立第八十二中学校	三原市立第八十三中学校	三原市立第八十四中学校	三原市立第八十五中学校	三原市立第八十六中学校	三原市立第八十七中学校	三原市立第八十八中学校	三原市立第八十九中学校	三原市立第九十中学校	三原市立第九十一中学校	三原市立第九十二中学校	三原市立第九十三中学校	三原市立第九十四中学校	三原市立第九十五中学校	三原市立第九十六中学校	三原市立第九十七中学校	三原市立第九十八中学校	三原市立第九十九中学校	三原市立第一百中学校
-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------

**実行委員長挨拶**  
**やっさ祭り**で  
**元気な三原に**

三原市三原やっさ祭り  
 実行委員長  
**村上 陸宏**

広げ、もっと多くの市民の皆様に参加していただき、もっと楽しんでほしい。この祭りによって三原を元気にしたいと考えております。

三原やっさ祭りは市民による市民のための祭りであり、その運営は多くの市民ボランティアスタッフの汗と、民間企業・各種団体の寄付金によって実現されています。しかしながら今日の混雑とした賑わいは祭りに対してもその影響を及ぼし、スタッフも資金も厳しい状況で、やっさ祭りも事業を縮小するか否かの選択を迫られています。

まちが元気であるということは、まちを愛し、まちのために汗を流す市民が多いため、そこには無いアイデンティティを皆で共有し、市民

が市民であることに喜びを感じられることではないでしょうか。そしてそれが具現化されたものがやっさ祭りではないかと思えます。厳しい状況でも全力を尽くし祭りをより盛り上げたいと考えております。

当会議所では、今年も三原やっさ祭りに、私と共に多くの会員が種々の祭り成長政策を持って向出します。本誌をご覧頂いている皆様にも三原やっさ祭りより一層のご支援・ご協力と、何よりもご来場をお願いするとともに、三原をもっと元気にするために多くの皆様の手を取り合えることを望んでおります。まち丸となって三原を盛り上げましょう。

**実行委員長挨拶**

三原市三原青年会議所  
 創立50周年実行委員長  
**榎山 泰三**

り、全国で220箇目の青年会議所として誕生し、本年で創立50周年を迎えさせていただくこととなりました。また半世紀におよぶ歴史の中で「明るく豊かなまちづくり」を基本理念に、変革の触媒として、情熱を持って地域に根差した様々な活動を行ってまいりました。その中で、三原における理想の姿を目指すビジョンとして1973年に「瀬戸のインターナショナル」三原」構想を、1985年に「インターフェイスみはら210」構想を、1992年に「ニューグラフィティみはら」構想を、2000年には「コラボレーションシティ21」構想を掲げ、そして2005年に「三原の夢想 新方

を発表し明るく豊かなまち「みはら」を目指してまちづくり運動を展開しています。ここに創立50周年という大きな節目を迎えるにあたり、今後、さらに20年後、30年後の我々のまち「みはら」を次の時代に向け、地域に根差した活動を変わらぬ情熱を持って積極的に活動し続ける団体であるべく、努力してゆく所存であります。

今後とも私たち社団法人 三原青年会議所への、皆様のご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

**第1回タコバトル開催**

日本全国に「タコ」のまちを名乗るまちは数多く存在する。そのまちが一堂に会し、日本の座を駆け、わがまちのタコ自慢を繰り広げる。このイベントに「三原」も参加することが決まりました。三原市を全国にPRする絶好のチャンスである。みんなで応援に行ってください！

日 時 2月18日 19日(土・日)  
 場 所 福岡県北九州市 門司港めがね広場  
 抽選開始 18日 タコまち交流サミット(17:00-19:00)  
 19日 タコ料理グルメバトル・イベント(10:00-15:00)

**三原やっさ検定**

見たい! 知りたい! 歩きたい!

三原やっさ検定は「三原」の魅力を観光や歴史・文化・食・街などあらゆる角度から、三原の魅力を再発見しよう! 検定を受けることで、三原の魅力を再発見しよう!

2012年3月18日(日曜日)  
 14時~(検定時間は90分間)  
 会場 三原市立第二中学校  
 会場 三原市中央公民館2F(14-1)  
 2012年1月23日(月)~  
 2月27日(月)  
 料 金 一般/2,000円  
 学生(高校生以下)/1,000円  
 申込 締切 三原青年会議所 TEL:0848-62-6155

**三原(話)タコプロジェクト**

～三原珍百景を探そう～

今回、米子の取材を終えて感じたことは、米子の人はみんな米子が大好きで、全国の方に誇られてもらっていた。羨しんでまちづくり活動をしてほしい。三原に誇る私たちが三原のことが好きでない。三原も元気を取り戻し、活気溢れるまちにするために、私たちも楽しんでまちづくり活動をして見ませんか?

第一歩として、みんなで三原珍百景を探しましょう。思わず立ち止まってしまう場所、笑ってしまうような場所、不思議な景色など、写真に撮って当会議所にメールまたは郵送にてご投稿ください。  
 ※100ヶ所集まった時点で投票を行い、優勝者には記念品を贈呈します。

担当: 総務・広報委員会 花田

**やっさもっさ(仮)言稿**

**3月号予告**

**三原の理想的な姿は…? みんなの意見を投票しよう**

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「市民のヒトコト言いたい!」にも、ふろてご寄稿をよろしくお願ひ申し上げます。

**やっさもっさチャンネル**

今月のやっさもっさ新編の内容は三原テレビにて下記の日程(●)で放送予定です

2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19
7:30						
9:30						
12:30						
17:00						
19:30						
22:30						

**お問い合わせ先**

**社団法人 三原青年会議所**

〒723-0052 三原市修業4-1 三原商工会議所内  
 TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com  
 ホームページ http://www.mihara-jc.com

三原青年会議所 検索

**緊急特集**

**目からウロコの情報満載!!**

**米子市の商店街がすごいことに**

昨年、社団法人 三原青年会議所では、中心市街地活性化※1(以下「中活」)について訴えてきた。まちに魅力を取り戻し、都市間競争を勝ち抜くため「中活」を活用した様々な取り組みが全国各地で行なわれており、今後、さらに20年後、30年後の我々のまち「みはら」を次の時代に向け、地域に根差した活動を変わらぬ情熱を持って積極的に活動し続ける団体であるべく、努力してゆく所存であります。

今後とも私たち社団法人 三原青年会議所への、皆様のご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

子の人は誰でも受け入れるおらかな性格であると言えます。そして、交通の要所という点では三原市と共通した部分があるのではないのでしょうか。また、米子市の主要産業は食品加工と観光です。食品加工の会社が数多く集まる理由として、水がきれいな地域であると言えます。

**国に十分なお金はない**

今年、団塊の世代が65歳を迎えます。今後220万人から260万人もの人が毎年、年金をもらうようになっています。しかし国の財源は限られており、せめて自分たちの暮らす街なかは自分たちで何とかして欲しいという思いがあったのではないのでしょうか。

※1「中活」とは、空洞化している中心市街地の活性化を図るため、地域の創生工夫を活かす、「市街地の整備改善」「商業等の活性化」を柱とする総合的・一体的な対策を開発する、地方公共団体、民間事業者等が連携して推進することにより、地域の振興と秩序ある整備を図り、我が国の国民生活の向上と国民経済の発展を図るもの。

**商店街の空き店舗が半分以上**

まちの形としてコンパクトシティ(※2)の形は出来ていると言えます。駅から百貨店を繋ぐ1.5kmが商店街になっていますが、平成22年には空き店舗率が50%に達した商店街もあり、高齢化率(60歳以上の方が経営する店舗)は、40%以上でした。この現状を打破するための挑戦を始めました。

(※2)コンパクトシティとは都市土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に中心市街地の活性化が図られた、生活に必要な機能が近接した効率的で持続可能な都市、もしくはそれを目指した都市政策のことである。

**これまでのまちづくりでは破綻するだけ**

これまでの第三セクター(以下、三セク)が行ってきたまちづくりの形では上手いきません。その理由は「ハコモノ」を造りたがるからです。そして、三セクの組織自体が、連合機構のようになってしまう、それぞれの要望を寄せ集めたものになってしまうのです。その結果、大きな「ハコモノ」になってしまう、結局、その建物の維持費がまかなえず、失敗してしまうのです。

**使える制度を活用して**

米子市タウンマネージャー(※3)  
**杉谷 第士郎氏**

**若者が夢を描くために**

若い人に米子で働いてもらおうと考えた時に、若者が仕事があるかどうかが重要です。その為にも国が用意している補助金について使えるものは使ひ、まちに活かすという考えが大切です。その大きな役割を果たしたのが基本計画+戦略補助金という中活制度です。

**3年間で60点の結果が出たらしい**

米子市では、無理をしない身の丈にあったまちづくりを考えた。まず、若者の夢を如何にして3年で軌道に乗せるかを考え、出来ることからスタートさせます。まちづくりの合格点を60点に設定し、そこで3年かけて持っていく。年20点×3年=60点という考えです。そうすることで、とりえず出来ることから始めていこうとなり、精神的、予算的にも負担軽減に繋がります。

**米子市と三原市の共通点**

米子市の人口は約15万人で、三原市より約5万人多いまちです。そして現在は石垣のみになっていますが川元流が建てた米子城があります。築城にあたり、城下町を作るため、全国各地からお店を集めました。そういった歴史を踏まえ、米

**実際の取組は?**

まず始めに商店街ごとまちづくり会社を設立する為に民間の事業者プレーヤーを呼び起こしました。そのスタンスは「挑戦する人をことごとく応援する」ということです。商工会議所や地元銀行も応援しています。地元銀行さんには、資金計画などをサポートしていただきました。また、商工会議所は大きな看板を掲げています。そして、資金協力をしていただいています。

(※3)タウンマネージャーとは中心都市を都市経営の視点で一体的に整備し、街の活力を復活させようとする人のこと。タウンマネージャーはその地域活性化の成功例を参考にしたりその地域の特色を活かしたりして、商業機能を総合的に整備し、幅広く市街地を整備することを提案し、地域全体の活性化を促します。





# 社団法人 三原青年会議所 創立50周年記念事業

田原総一郎氏が語る

先の見えない時代を読む  
他では聞けないここだけの話

氾濫する  
情報を見極め  
自らを生かす!!



2012年3月18日(日) 14:30~16:00 (受付開始 13:30~)

参加費 **無料**  
定員1200人

会場 三原芸術文化センター ポポロ (三原市宮浦2丁目1-1)

整理券発行場所 三原商工会議所 (1F受付) / 三原市芸術文化センターポポロ (事務局) / うきしろロビー

※入場整理券を事前に発行いたします。定員になり次第発行を打ち切りますので、お早めに上記発行場所でお求め下さい。

講師 田原 総一郎氏

1934年滋賀県彦根市生まれ。早稲田大学文学部卒業。岩波映画製作所、テレビ東京を経て'77年フリーに。現在は政治・経済・メディア・コンピューター等、時代の最先端の問題を捉え、活字と放送の両メディアにわたり精神的な評論活動を続けている。

## 開催趣旨

社団法人 三原青年会議所は1962年7月に誕生し、市民の皆様並びに関係各所の皆様のご支援ご協力いただきまして本年創立50周年を迎えることができました。

今、目まぐるしく変化してゆく混沌とした時代の中「世界」「日本」そして「私たちの住むまち」の先行きの不透明感と閉塞感を感じている方も多いのではないのでしょうか。そんな中、テレビや新聞などで日々流れてくる事件や事故、国内外の情勢といった様々な情報が私たちの暮らしにどのよ

うに関わり、私たちは何をしてゆかなくてはならないのか、氾濫する情報を見極め、精査する能力と行動を起こすのが、今必要なのだと感じています。

講演会を通じて、真の情報とその繋がりや、それが私たちの住む三原のまちにどのように影響するのかなど、市民の皆様と共に考える機会になればと思います。多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。

## 田原総一郎さんに聞いてみたいことはありませんか?

ご質問がありましたら3月9日(金)までに裏面連絡先までFAX又はEメールでご応募下さい。公演中、ご質問内容について田原さんに応えていただきます。時間の関係上全ての質問には答えられない場合がありますのでご了承下さい。沢山のご応募お待ちしております。

■主催 社団法人 三原青年会議所 ■後援 三原市/三原商工会議所/広島経済同友会三原支部

# どうなる 駅前市民広場?

## 駅前東館跡地活用検討会議開催

### 社団法人 三原青年会議所も参加

三原市は、駅前市民広場の活用方法を検討する2つの会議態を1つに集約し、幅広い意見を聞くために一般公募も含め、新たな会議を行なっている。その会議に当会議所から小林正典理事長も参加している。

### 参加者から挙がった意見

2月9日に開催された第2回の会議において、参加者から様々な意見が挙がっていた。例えば「市役所を駅前跡地に建設することが前提なのか」「震災拠点としては、場所が低過ぎるの

ではないか」「半日くらい楽しめる非日常的な施設が欲しい」「大きなコンベンションホールが必要」「全国的に駅前から人が少なくなっており、三原ではなぜ天満屋が撤退したか調べる必要がある」などである。それに対する市役所の回答は「一つ、二つではない三原市のまちづくりの方向性を次回提出する」というものであった。

### 今後の会議に注目

この会議は、公開で行なわれており、傍聴が可能である。今後、駅前東館跡地の行末がどうなるのか、興味がある方は足を運んでみてはいかがでしょうか。



一番理想的な姿は?

## 行政との連携を模索

### 市民討議会は有効

先述の通り、駅前東館跡地活用問題が今、注目されている。その為の会議を行なっているが、結局はそこに参加したメンバーの意見しか聞くことができず、市民が納得できる活用ができないのではないだろうか。当然、全ての市民が納得いく活用方法はないのだが、多くの市民の賛同を得るためには、市民による話し合いをする機会があれば良いと考える。

少しでも多くの市民の声を行政に伝えるために、当会議所では、本年度も市民討議会の開催を検討中である。



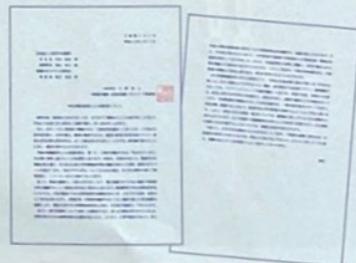
昨年開催された市民討議会の様子

### なぜ、行政との連携が必要なのか

市民討議会の特徴は、年齢層・地域を均等に考慮し、無作為抽出によって参加者を公募することである。そうすることで、公平な意見収集が可能になる。昨年は、当会議所メンバーがポスティングで募集を行なったため、年齢層の公平性が保てたとは言えない。そこで、より公平な会議にしていくために、今後も行政との連携を働きかけていく。

## 昨年度開催 市民討議会の提案について 三原市の回答

昨年度、協働のまちづくり委員会（坂元友治委員長）が開催した市民討議会（無作為抽出で選んだ市民に集まって頂き、決められたテーマについて協議を行なう）の結果とともに、市民討議会開催の意義について昨年10月「提案書」を三原市に提出し、それに対する回答が今年1月当会議所へ届いた。その内容は「市民討議会で協議された意見は今後の計画推進の貴重な意見として参考とする。しかし、特定の団体とのみ共催することは、慎重な対応が求められる。」というものだった。市役所の主張も理解できるが、駅前東館跡地活用問題でゆれる三原市にとって市民討議会は最良の手段ではないだろうか?



市から届いた回答書

巨額で不正な損失隠ぺいなど、近頃、大企業の不祥事が新聞紙面を賑わせている。誰もが名前を知っている大企業が、どうしてそのような不祥事を起こしてしまうのだろうか。庶民感覚では理解が苦しむ場面が多い。そのような事件が起こってしまう理由はさまざまであるが、組織における「創業時の想い」が受け継がれなかったこともあるのではないかと◆組織にとって、骨となるものは社風であり、それらは受け継がれる「想い」でもある。設立当初は希望に満ち、全身全霊をかけて世に製品を送り出していたことは想像に難くない。そのような「想い」が受け継がれていけば、不祥事となるようなことは起こらなかったかもしれない◆社団法人三原青年会議所も今年で五〇周年を迎える。一九六二年に始まった我々の活動は、「明るい豊かなまちづくり」を基本理念に奉仕・修練・友情を三信条に掲げ、自分たちの住むまちを良くしてゆくことで明るい豊かな三原となり、その活動が広島全体に広がり、更には日本を「明るい豊かな国」にしてゆけると信じ活動を行なっている◆組織は、だれのために、何のために活動しているのか。理念を再確認し、公共的、社会的視点を失わず、組織の役割を理解することが重要だ。節目の年に気持ちを改めて「原点復帰」をし、活動を行ないたい。

またかまたか

## やさもっさ 伝言板

### 4月号予告

永久保存版!

### 次号、400号記念号

やさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「市民のヒトコト言いたい」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願い申し上げます。

## やさもっさチャンネル

今月のやさもっさ新聞の内容は三原テレビにて下記の日程(●)で放送予定です

	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18
7:30	●	●	●	●	●	●	●
9:30	●	●	●	●	●	●	●
12:30	●	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●	●
22:30	●	●	●	●	●	●	●

## お問い合わせ先

## 社団法人 三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内  
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com

ホームページ  
<http://www.mihara-jc.com>

三原青年会議所

検索



携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。







# フェニックスプラン 三原 再生計画

今回、社団法人 三原青年会議所では、三原を活気溢れるまちにしておくために、現在の三原市の現状から新たな可能性を考え「このようなことをすれば三原も元気になるのではないか」といったいくつかのプランをご提案致します。今後、これらのプランを少しずつ掘り下げて発表してゆきます。皆様からの賛成、反対、もっとこうしたら良いなど、ご意見を頂きたいと思えます。

## 企業誘致



三原市には多くの企業団地が存在しています。しかし、まだ土地が空いているのが現状です。福祉のまち三原を提唱するのであれば、そこへ福祉関係、また大手の企業を誘致出来れば、三原市にも活気が戻ってくると思えます。三原の立地の良さをもっとPRするべきです。



海外

## 新本郷駅を建設(仮称: 隆景駅)

広島県を代表する空港が存在している三原市。その空港から直結の新幹線の駅を建設してはどうでしょうか。新たに新本郷駅を中心とした中心市街地が形成される可能性も秘めています。



# 住んでよし・訪れてよしのまち「三原」



## “久井の岩海”周辺を映画の撮影現場に

久井の岩海は国の天然記念物に指定されているほど、三原市にとって貴重な観光資源です。この岩海周辺を自然溢れる姿に整備し(現在は逆の工事)、映画の撮影に最適なエリアにしてゆけば良いと思えます。



## 駅前市民広場に最先端医療施設を建設

現在、埋れている駅前市民広場活用問題。最先端医療施設が来れば、駅からすぐの立地条件が好評を得て、全国から人が訪れてくると思えます。また、空港も近いので海外からも人の流れが期待できます。



## 系崎駅にSLの展示を

三菱重工三原と深い関わりがあるSLを系崎駅の使用していないレールを活用して展示してはどうでしょうか。期間限定で走らせることができれば多くの観光客が集まってくるでしょう。またSLだけでなく珍しい電車もあれば、鉄道愛好家の方々が三原に集ってくると思えます。



## カジノ船を誘致

永崎の松浜地区(現在、カキ小屋があるところ)にカジノ船を誘致してはどうだろうか。日本各地や近隣諸国から観光客が集まり、宿泊や観光客が元気になると思えます。



## 佐木島のトライアスロンを全国区に

佐木島のトライアスロンは初心者向けに良いと思われています。「初心者向き」をアピールして全国から選手を迎えれば、三原市が有名になり元気になると思えます。



三原市	三原市役所	三原市立第一中学校	三原市立第二中学校	三原市立第三中学校	三原市立第四中学校	三原市立第五中学校	三原市立第六中学校	三原市立第七中学校	三原市立第八中学校	三原市立第九中学校	三原市立第十中学校	三原市立第十一中学校	三原市立第十二中学校	三原市立第十三中学校	三原市立第十四中学校	三原市立第十五中学校	三原市立第十六中学校	三原市立第十七中学校	三原市立第十八中学校	三原市立第十九中学校	三原市立第二十中学校	三原市立第二十一中学校	三原市立第二十二中学校	三原市立第二十三中学校	三原市立第二十四中学校	三原市立第二十五中学校	三原市立第二十六中学校	三原市立第二十七中学校	三原市立第二十八中学校	三原市立第二十九中学校	三原市立第三十中学校	三原市立第三十一中学校	三原市立第三十二中学校	三原市立第三十三中学校	三原市立第三十四中学校	三原市立第三十五中学校	三原市立第三十六中学校	三原市立第三十七中学校	三原市立第三十八中学校	三原市立第三十九中学校	三原市立第四十中学校	三原市立第四十一中学校	三原市立第四十二中学校	三原市立第四十三中学校	三原市立第四十四中学校	三原市立第四十五中学校	三原市立第四十六中学校	三原市立第四十七中学校	三原市立第四十八中学校	三原市立第四十九中学校	三原市立第五十中学校	三原市立第五十一中学校	三原市立第五十二中学校	三原市立第五十三中学校	三原市立第五十四中学校	三原市立第五十五中学校	三原市立第五十六中学校	三原市立第五十七中学校	三原市立第五十八中学校	三原市立第五十九中学校	三原市立第六十中学校	三原市立第六十一中学校	三原市立第六十二中学校	三原市立第六十三中学校	三原市立第六十四中学校	三原市立第六十五中学校	三原市立第六十六中学校	三原市立第六十七中学校	三原市立第六十八中学校	三原市立第六十九中学校	三原市立第七十中学校	三原市立第七十一中学校	三原市立第七十二中学校	三原市立第七十三中学校	三原市立第七十四中学校	三原市立第七十五中学校	三原市立第七十六中学校	三原市立第七十七中学校	三原市立第七十八中学校	三原市立第七十九中学校	三原市立第八十中学校	三原市立第八十一中学校	三原市立第八十二中学校	三原市立第八十三中学校	三原市立第八十四中学校	三原市立第八十五中学校	三原市立第八十六中学校	三原市立第八十七中学校	三原市立第八十八中学校	三原市立第八十九中学校	三原市立第九十中学校	三原市立第九十一中学校	三原市立第九十二中学校	三原市立第九十三中学校	三原市立第九十四中学校	三原市立第九十五中学校	三原市立第九十六中学校	三原市立第九十七中学校	三原市立第九十八中学校	三原市立第九十九中学校	三原市立第一百中学校
-----	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------



# フェニックスプラン 三原再生計画の全貌

## 第一弾

社団法人三原青年会議所では、当紙面の5月号において「三原再生計画(三原フェニックスプラン)」と題し、三原市に存在する「素材」を活かして三原市を活性化してゆくための様々な提案を致しました。今月号は、大きな経済効果を生むであろう「最先端医療」について掘り下げます。

### 駅前東館跡地活用問題に「石」を投じる

## 最先端医療施設を建設!?

#### 拡大する医療市場

日本の経済産業省の発表によると、医療機器産業の世界市場は約5~8%の成長を続けており、2005年約20兆円から2011年には約25兆円と今後成長すると予測されています。※日本の医療機器市場規模は約2.2兆円(2008年)

アメリカは15年早くこの分野に注目を、積極的に開発研究を行ってきました。その結果、優れた医療機器が開発され、アメリカ食品医薬品局(FDA「Food and Drug Administration」)で認可を受けた最先端医療機器が日本に向けて輸出されています。

またヨーロッパに目を向けると、フィンランドのオウル市ではオウル大学医学部や大学病院との連携を軸にした医療-福祉関連の「メディボリス」と呼ばれる施設が整備され、高齢者福祉産業とエレクトロニクス産業を組み合わせた新産業の育成に力を入れています。

三原市であるならば、オウル市を参考に福祉と最先端医療を組み合わせた産業に取り組むと良いのではないかと考えます。



最先端医療機器のイメージ

そのためには、三原市が「メディボリス」を打ち立て、国内最先端医療特区の申請をします。そして、県立広島大学や多くの総合病院、介護福祉施設が存在する「福祉のまち三原」であることや温暖な気候であること、交通の利便性の良さをもっと全国へ、世界へPRしてゆきます。そうすることで、市内にある工業団地へ最先端医療機器開発メーカーの誘致へと繋がるのだと考えます。更に、県立広島大学と誘致した企業がコラボレーション(産学連携)、研究・開発・臨床を行なうことが出来れば、国内屈指の最先端医療都市になることも可能なのではないだろうか。

駅-空港-港が近く存在する立地条件の良さを活かして、ここへ日本全国、中国を中心としたアジア各地から人を呼び込むのです。その拠点とするのが、駅前東館跡地なのです。

#### コラム

政府は「メディカルイノベーション戦略」を打ち立て、日本の中小企業の最先端医療への介入を推進しています。これによる市場創出効果は1,000億円、経済波及効果は1,980億円、雇用創出効果は9,500人と見込んでいます。

#### 課題

しかし、実現してゆくにはいくつかの課題もあります。

- 最先端医療施設の建設費及び医療機器の購入費を三原市が負担するのか。それとも、企業誘致をするのか
- 現在三原にある総合病院との住み分けはどうか
- 現在三原にある総合病院にメディカルツーリズムの受け入れは出来ないのか
- 中国の方の来日に関する課題
- 中国における外資系企業には、中国で集客し日本へのツアーは認められていない
- 日本で検診をしてもその後のフォローがない
- 日本と中国の医療機器の規格が異なる
- 中国における外資系企業には、中国で集客し日本へのツアーは認められていない

#### その他の課題

■すでに最先端医療への取り組みを行っているところがある  
「メディボリス指図構想(鹿児島県指図市)」「先端医療産業特区構想(兵庫県神戸市)」

#### 三原市の動きは

三原市では、メディカルツーリズムへの対応はどのようにされるのかという点について観光文化課に話を伺いました。

三原市では、メディカルツーリズムへの対応はどのようにされるのかという点について観光文化課に話を伺いました。



最先端医療施設でのイメージ

## まずはメディカルツーリズムから!

#### 三原市の現状は

国は「最先端医療機器」について、各市町の医療機関にそれぞれ違った最先端医療機器を導入し、それを共同利用してほしいという思いがあるそうです。現在の三原市を見てみると、各総合病院がそれぞれに最先端医療機器を導入され、そこへ患者を紹介する形で一定の共同利用は行なわれているようです。ただし、まだ地元の方の利用が殆どであり、海外を含めとした全国各地方から三原へ訪れて受診をするという流れはないようです。

また、中国の方にメディカルツーリズムを推進するためには3つの要素があります。「医療」「観光」「買い物」です。観光同様もしくは、それ以上に日本での買い物を楽しみたいという方が多いそうです。そういった点で、メディカルツーリズムの多くが買い物を楽しめるような環境を整えることが重要であると考えられます。

三原市では、メディカルツーリズムへの対応はどのようにされるのかという点について観光文化課に話を伺いました。

#### メディカルツーリズムを加速?

そのような中、三原市において現在注目されているのが、三原医師会病院に導入されている、癌に関する最先端医療機器の「PET-CT」です。この「PET-CT」は広島県内に5機存在し、県東部では三原市だけです。これを活用したメディカルツーリズムへの動きはないのでしょうか。

#### 三原市の動きは

三原市では、メディカルツーリズムへの対応はどのようにされるのかという点について観光文化課に話を伺いました。

#### 三原市の現状は

国は「最先端医療機器」について、各市町の医療機関にそれぞれ違った最先端医療機器を導入し、それを共同利用してほしいという思いがあるそうです。現在の三原市を見てみると、各総合病院がそれぞれに最先端医療機器を導入され、そこへ患者を紹介する形で一定の共同利用は行なわれているようです。ただし、まだ地元の方の利用が殆どであり、海外を含めとした全国各地方から三原へ訪れて受診をするという流れはないようです。

#### 三原市の現状は

国は「最先端医療機器」について、各市町の医療機関にそれぞれ違った最先端医療機器を導入し、それを共同利用してほしいという思いがあるそうです。現在の三原市を見てみると、各総合病院がそれぞれに最先端医療機器を導入され、そこへ患者を紹介する形で一定の共同利用は行なわれているようです。ただし、まだ地元の方の利用が殆どであり、海外を含めとした全国各地方から三原へ訪れて受診をするという流れはないようです。

また、中国の方にメディカルツーリズムを推進するためには3つの要素があります。「医療」「観光」「買い物」です。観光同様もしくは、それ以上に日本での買い物を楽しみたいという方が多いそうです。そういった点で、メディカルツーリズムの多くが買い物を楽しめるような環境を整えることが重要であると考えられます。

三原市では、メディカルツーリズムへの対応はどのようにされるのかという点について観光文化課に話を伺いました。

#### メディカルツーリズムを加速?

そのような中、三原市において現在注目されているのが、三原医師会病院に導入されている、癌に関する最先端医療機器の「PET-CT」です。この「PET-CT」は広島県内に5機存在し、県東部では三原市だけです。これを活用したメディカルツーリズムへの動きはないのでしょうか。

#### 三原市の動きは

三原市では、メディカルツーリズムへの対応はどのようにされるのかという点について観光文化課に話を伺いました。



#### 最先端医療の拠点に

##### 実現に向けて...

今回取材を行ない、ソフト面・ハード面で多くの課題が浮き彫りになってきました。人材(医師)の確保や駅前東館跡地への建物の建築について、財源はどのようにするのか。メディカルツーリズムの受け入れも、こちらの思惑だけではどうにもならないようです。

しかし、それを解決する手段が「産」「学」の連携であり、三原市全体がメディボリスのような医療都市へと変化してゆくことだと考えます。本年度、行政が策定する「観光戦略プラン」に期待しつつ、我々も今後の「やっさもっさ」を通じて、様々なプランを掘り下げてゆきます。

三原市では、メディカルツーリズムへの対応はどのようにされるのかという点について観光文化課に話を伺いました。

三原市	三原市役所	三原市立総合病院	三原市立第一病院	三原市立第二病院	三原市立第三病院	三原市立第四病院	三原市立第五病院	三原市立第六病院	三原市立第七病院	三原市立第八病院	三原市立第九病院	三原市立第十病院	三原市立第十一病院	三原市立第十二病院	三原市立第十三病院	三原市立第十四病院	三原市立第十五病院	三原市立第十六病院	三原市立第十七病院	三原市立第十八病院	三原市立第十九病院	三原市立第二十病院	三原市立第二十一病院	三原市立第二十二病院	三原市立第二十三病院	三原市立第二十四病院	三原市立第二十五病院	三原市立第二十六病院	三原市立第二十七病院	三原市立第二十八病院	三原市立第二十九病院	三原市立第三十病院	三原市立第三十一病院	三原市立第三十二病院	三原市立第三十三病院	三原市立第三十四病院	三原市立第三十五病院	三原市立第三十六病院	三原市立第三十七病院	三原市立第三十八病院	三原市立第三十九病院	三原市立第四十病院	三原市立第四十一病院	三原市立第四十二病院	三原市立第四十三病院	三原市立第四十四病院	三原市立第四十五病院	三原市立第四十六病院	三原市立第四十七病院	三原市立第四十八病院	三原市立第四十九病院	三原市立第五十病院	三原市立第五十一病院	三原市立第五十二病院	三原市立第五十三病院	三原市立第五十四病院	三原市立第五十五病院	三原市立第五十六病院	三原市立第五十七病院	三原市立第五十八病院	三原市立第五十九病院	三原市立第六十病院	三原市立第六十一病院	三原市立第六十二病院	三原市立第六十三病院	三原市立第六十四病院	三原市立第六十五病院	三原市立第六十六病院	三原市立第六十七病院	三原市立第六十八病院	三原市立第六十九病院	三原市立第七十病院	三原市立第七十一病院	三原市立第七十二病院	三原市立第七十三病院	三原市立第七十四病院	三原市立第七十五病院	三原市立第七十六病院	三原市立第七十七病院	三原市立第七十八病院	三原市立第七十九病院	三原市立第八十病院	三原市立第八十一病院	三原市立第八十二病院	三原市立第八十三病院	三原市立第八十四病院	三原市立第八十五病院	三原市立第八十六病院	三原市立第八十七病院	三原市立第八十八病院	三原市立第八十九病院	三原市立第九十病院	三原市立第九十一病院	三原市立第九十二病院	三原市立第九十三病院	三原市立第九十四病院	三原市立第九十五病院	三原市立第九十六病院	三原市立第九十七病院	三原市立第九十八病院	三原市立第九十九病院	三原市立第一百病院
-----	-------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------



# 今、鉄道ファンが熱い!!

## 三原再生計画の全貌 第2弾



写真提供：鉄道博物館

### 経済効果を生む! 鉄道ブーム!

現在日本では、空前の「鉄道ブーム」が起こっています。このブームは国境が広く、さまざまな鉄道ファン(車両を研究する「車両派」や鉄道写真を撮る「撮り鉄」、鉄道旅行を愛する「乗り鉄」、鉄道模型を楽しむ「模型派」など)を含む、女性や家族で鉄道を楽しむ方もいます。

鉄道ファンの巻き起こす経済効果は大きく、2007年10月にオープンした鉄道博物館(埼玉県さいたま市大宮区)は、当初年間入館者が100万人との予想でしたが、2008年10月末で170万人を突破し、今年4月には累計入館者数が500万人を超え、2年目以降、来館者数は減ったものの毎年約95万人が訪れる人気スポットになっており、関連グッズの売り上げを含めると年間約240億円(推計)の経済効果があったとされています。



写真提供：鉄道博物館

全国には他にも、JR東海の鉄道博物館(愛知県名古屋駅)にある「リニア」鉄道館、「交通科学博物館」(大阪府大阪市)、「梅小路蒸気機関車館」(京都府京都市)、「鉄道歴史パーク in SAUD」(愛媛県西条市)など「鉄道」をキーワードに活気を創出しているまちも数多く存在しています。

### 「三原」にはある! 鉄道の「過去」と「未来」

三原市も「鉄道」には関わりあいの深いまちであることをご存知ですか?実は三菱重工三原は、鉄道の「過去」から「未来」が詰まっているのです。三菱重工三原では、かつてC57(シゴナナ)と呼ばれる蒸気機関車(SL)を製造し(工場の入り口に展示)、現在では新交通システム(APM)全自動無人運転車両「Automated People Mover」(LRV)(Light Rail Vehicle)の車両が開発・製造されています。

また、三菱重工三原の最寄りである「糸崎駅」は、1892年(明治25年)の開業当時は「三原駅」として栄えた歴史ある駅です。そして、かつては貨物ヤードとして利用されていた

レールが数多く存在しています。この利点を活用し、鉄道をテーマにした「まちおこし」を行い、鉄道ファンを三原に呼び込む提案を行います。

- APM新交通システムとは…広島高速交通システム(1号線)や東京臨海新交通臨海線「ゆりかもめ」が導入しているシステム
- LRV車両とは…広島市内を走る路面電車として「グリーンパーMAX」の愛称で活躍している

### 三原JOCの提案

- 実際にSLを走らせる
  - ①呉線を走らせる?
  - ②糸崎駅から松浜地区まで?
  - ③糸崎駅周辺のみ?
- SLや珍しい車両及び輸送システムで使用する車両を展示する
  - ①松浜地区へ展示館を建設?
  - ②糸崎駅周辺に展示館を建設?
  - ③駅前東部跡地へ展示館を建設?

### 課題

- 三菱重工三原から車両を購入、又は借用する必要はある
- SLを走らせると周知ができる中で街中で開催するのは難しい
- 展示館建設には費用と時間がかかる
- 松浜地区まで走らせるには新たに線路を敷く必要がある
- 三原市しか展示することができない珍しい車両を集められるか
- 費用の負担はどこにするか など

# 動き出している“呉線に蒸気機関車を”

今回の提案をするに当たり、様々な調査を行ったところ「瀬戸内」汽力構想に向床向する三原市の有志(仮称)といふ方も同じ様な考えを持っていて走らせる夢を実現させるために地道に活動をしていたそうです。そこで、この度の、この有志の一人の方にご話を伺いました。

### 三原JOC なぜ、蒸気機関車(以下SL)を走らせようと思ったのでしょうか?

【有志の方】1970年から呉線は電化され、SLが走ることはなくなりました。昔は瀬戸内海に遊漁船を浮かべ、沿線走るSLの煙を見ながら釣りをしていました。そして、船頭は汽笛の音で翌日の天気をおっしゃっていました。トナリに入る前に機関車の音で降り、急いで窓を閉めて間に合ったことに乗客同士で話を聞かされた記憶がありました。そのような思い出が懐かしく思われ、もう一度呉線にSLを走らせたいという衝動にかられました。

### 三原JOC 具体的にどのようなお考えなのでしょうか?

【有志の方】現在、日本全国でSLが運行されているのは12路線です。何れも風光明媚な景勝地を走る観光列車です。もし、呉線を走らせることが実現すれば、陽光が白砂の海岸とSLの融合に、観光客は勿論のこと、SLファンの垂涎的になるとも思います。そこで、呉線沿線の各市町が連携して「SL」を中心に、観光スポットや特産物が観光客を集客出来れば、沿線の活性化が図れ、共に、瀬戸内汽力構想の一助になり得ると考えています。具体的な考えは以下の通りです。



写真提供：鉄道博物館

### SLの豆知識

【S】はsteam(水蒸気)【L】はlocomotive(それ自体で動くことが出来る)の意味をつなげ合わせた(水蒸気でそれ自体を動かす移動させる)こととなり、steam locomotiveは蒸気機関車、略してSとなります。

### 瀬戸内汽力構想に実現する三原市の有志(仮称)の提案

- 運行: 三原・広島間を観光列車として不定期で運行する
- 使用する蒸気機関車: 三菱重工三原に静態保存している「C57」を借用 ※注1
- (第2候補) JR西日本広島車両所静態保存の「D52」
- 前提事項: SLの費用発生と客車(出来ればシロタリ)の手配
- 結核駅の設置: 糸崎駅と広島駅にSLを方向転換する転車台を設置
- 石炭・水の積み込み設備: 糸崎駅の旧機庫区跡が適地と考え(別に石炭ラジの処理が必要)
- 運転士: 現在のSL運行地区のJRは熱意ある対応をしてくれている ※注2

### ここに注目

一資金の問題に関する解決策はこれ!!  
鳥取県東部の若杉町から八幡町間の総延長19.2キロを走る鉄道会社「若杉鉄道」は、鉄道会社の存続だけでなく、観光客を集めることで地域に働く場をつくり出し、若年人口の減少に歯止めをかけることを目的にSLを活用したまちづくりを行なっています。近隣地域の経済団体などを巻き込み



写真提供：鉄道博物館

### まとめ

SLを走らせる夢を実現するためには大変大きなエネルギーが必要なプロジェクトですが、三原だけではなく、呉線沿線のまちを巻き込んだ多くの人の夢を瀬戸内海へ運んでくれる素晴らしい企画だと思います。博物館の建築は時間とお金がかかりすぎると思いますが、湯崎英彦県知事の提唱する「瀬戸内」汽力構想の企画の一つに集約することが出来れば夢ではなく実現も可能です。そして、三菱重工三原の鉄道の歴史も三原のアイデンティティのひとつであり、三原のみならず瀬戸内の活気のために「呉線に蒸気機関車を」運動に本気で取り組めば実現は可能だとします。今後有志の皆様とともに様々なところへ提案を行ってゆきたいと思っております。

一皆様のご意見・ご感想はメール又はFAXにてお寄せ下さい一

### コラム

#### 被災地支援にもSLが活躍!

若手派では、東日本大震災や大きな被害を受けた東地方の復興支援としてSLが活躍しています。毎月(6)の週に、若手を「自らの力」にしようという企画で「いわて」ステーションキャンペーン)と題し、一関～北上間で実際にSLを走らせました。現地で観光客が驚きの音や振動の迫力を見入り、山ノ目駅(若手派一関)には多くの方が見学に来ていました。



業種	会社名	所在地
製薬	三原製薬	三原市
食品	三原食品	三原市
建設	三原建設	三原市
不動産	三原不動産	三原市
運輸	三原運輸	三原市
観光	三原観光	三原市
教育	三原教育	三原市
医療	三原医療	三原市
福祉	三原福祉	三原市
文化	三原文化	三原市
スポーツ	三原スポーツ	三原市
その他	三原その他	三原市

業種	会社名	所在地
製薬	三原製薬	三原市
食品	三原食品	三原市
建設	三原建設	三原市
不動産	三原不動産	三原市
運輸	三原運輸	三原市
観光	三原観光	三原市
教育	三原教育	三原市
医療	三原医療	三原市
福祉	三原福祉	三原市
文化	三原文化	三原市
スポーツ	三原スポーツ	三原市
その他	三原その他	三原市

**2012三原やっさ祭り告知 三原市ゆかりの有名人と熱く燃え上がろう!!**  
 今年のやっさ祭りには三原に所縁のある有名人が多数参加します。皆さんも一緒に応援しよう。



**■DJ GEORGIAとは…**  
 CLIFF EDGEのDJとして活躍  
 1984年8月20日生まれ  
 出生地は神奈川県。幼・小・中を三原附属で過ごし、高校は如水館高校に入学。しかし、夢を諦めず上京し東京の高校へ編入。附属時代にバンドをやり始めた。2003年に加入したユニット、CLIFF EDGEのDJ、トラックメーカー、プロデューサーとして活動を本格化。様々なアーティストへの楽曲提供、プロデューサー、リミックスを手がける一方、アーティストやアルバムブランドのホームページやCDジャケット、チラシ・広告などのデザインを制作するなど、マルチな才能を見せている。

CLIFF EDGE 登場!! ..... 8月11日(土曜日)21:30~  
 CLIFF EDGE & JyA-Me(ヤミー)エンディングLIVE!! ..... 8月12日(日曜日)21:00~22:00 (駅前メインステージ)



**ウルトラマンゼロ がやってくる!!**

おかひできトークショー

■三原出身映画監督 おかひでき氏  
 TVシリーズ「ウルトラマンダイナ」、「ウルトラマンギア」、「ウルトラマンコスモス」、映画「ウルトラマンティガ&ウルトラマンダイナ 光の星の戦士たち」、「ULTRAMAN」等に助監督として参加。「萬葉戦記リウウコンド」で監督デビューし、「トミカヒーローレスキューフォース」を経て、OV作品「ウルトラ銀河伝説外伝 ウルトラマンゼロスダーククロスゼロ」で初めてウルトラ作品の監督を務める。

みんながウルトラマンゼロを応援しよう!!

ウルトラマンゼロ登場!! 8月11日(土曜日) 16:30~ (駅前メインステージ)

**広島ブロック協議会 地域の未来選択委員会  
 如水館中学にて憲法について学ぶ教室 開催!**

**改正の是非、  
 公正に判断する能力養う**

日本人の憲法に対する概念や意識の希薄化が問題視されている中、憲法に対する意識を高め、憲法とはどのようなものか、日本がどうあるべき国であるべきかを考えてもらうため、公益社団法人日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会(手塚淳三会長)が主催した「憲法教室」が、9日、深町の学校法人山手中学如水館中学(高橋秀章校長)で開催され、如水館中の3年生50人が参加した。

内容は多岐にわたり、憲法と法律の違いから始まり、政教分離、憲法9条、国会二院制など例に出し、憲法が制定された66年前と現在と

で、生活環境の違いや国際社会から見た日本の置かれている状況の変化にもない、現在の日本国憲法では対応できていないと声が上がっている部分を中心に改正、非改正両方の意見を交えて説明していった。また、東日本大震災での日本政府の対応について触れ、国家非常事態対処条項の必要性も説明された。最後に最近の動きとして消費税増税、国民投票法について説明され、様々な意見を知った上で自分たち一人ひとりの考えを持って将来自分自身で

思った、もうすぐ自分たちも投票できる年齢になるので、政治に関わってきたい!これからは自分たちの世代が日本を引っ張っていくので頑張りたい!などの声が上がった。地域の未来選択委員会(日本青年会議所)は現在、県内3中学校での授業を終え、8月までに残り5校で憲法教室を開催する。



**やっさもっさ(伝言筒)**

9月号予告  
 子どもやっさ初出場校にインタビュー  
 ~やっさ祭りどうでした?~

やっさもっさでは、皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄(市民の一言)についても、ふるってご寄稿をよろしくお願いいたします。

**やっさもっさチャンネル**

今月のやっさもっさ新聞の内容は三原テレビにて下記の日程(※)で放送予定です

	6	7	8	9	10	11	12
7:30	●	●	●	●	●	●	●
11:30	●	●	●	●	●	●	●
13:30	●	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●	●
22:00	●	●	●	●	●	●	●

お問い合わせ先  
**社団法人 三原青年会議所**  
 〒723-0052 三原市菅家4-8-1 三原商工会議所内  
 TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

メール info@mihara-jc.com  
 ホームページ http://www.mihara-jc.com

三原青年会議所 検索

■発行 社団法人 三原青年会議所 ■編集 総務・広報委員会

社団法人 三原青年会議所新聞  
**やっさもっさ** 第404号  
 発行日 2012年7月1日

**三原再生計画**  
 企業誘致で三原に活気を取り戻そう  
 第3弾 その秘策とは…!!

**JCI 社団法人 三原青年会議所 新入会員紹介**  
 私たちの仲間が新たに加わりました。  
 三原市のために頑張ってください、よろしくお願いいたします。



社団法人 三原青年会議所公式サイト <http://www.mihara-jc.com/> e-mail: info@mihara-jc.com 三原青年会議所 検索

本紙「やっさもっさ」は、新聞折り込みを中心に配布しております。回不ご愛読ください。 ※原稿採録のため断稿を断っております。



社団法人 三原青年会議所 9月公開例会

# 体験型セミナー 傾聴力を身につけよう!!

～子どもの気持ちを理解する為に大切な事～ **参加者募集**

### 開催目的

本年度 次世代育成委員会では、三原市の子も達に「思いやりの心・感謝の心」を育てるような活動を行っています。「思いやりの心・感謝の心」を育てるには、人とひとのコミュニケーションが重要になると考えます。子ども達にとってコミュニケーションを図る一歩身近な存在である両親が発達途上にある子ども達の本心を聞き出し、導いてあげる事で子どものコミュニケーション能力は飛躍的に伸びます。その方法の一つが「傾聴力」です。

**入場無料**

日時 平成24年9月19日(水曜日)  
時間 19時～(受付)  
19時25分～20時35分(セミナー)  
場所 三原国際ホテル 6F エターナリー  
参加費 無料  
対象者 小学校4・5・6年生の児童をお持ちの保護者  
※お子様と一緒に参加していただけます。  
定員 60名  
申込方法 社団法人 三原青年会議所事務局へ電話またはFAXで申し込み下さい  
担当 次世代育成委員会委員長 古林浩明

**親の学びが子どもを成長させる!!**

### 「傾聴力」を学ぶと…

子ども達は、親に対して自分をありのまま大切に思ってもらいたい。また、周囲の人には、無視されたくない、ないがしろにされたくない、大切に思われたい、尊重してほしいと強く思っています

大人が積極的子どもと会話し、子ども達の本心を導き出す技術を学ぶ

実践してゆくことで、家庭でのコミュニケーションの質が向上し、子ども達は自分の意見をきちんと伝える事ができるようになるとともに、他人に対しての優しさや、自らの積極性に繋がってゆきます

### 講師 古宮 昇氏

#### 講師プロフィール

- 現職**
  - 大阪経済大学 人間科学部 教授。(臨床心理士養成第一種指定校大学院)
  - 新大阪にある (NPO) ストレス・カウンセリングセンターのカウンセラー。
- 学歴**
  - 大阪府立大学総合科学部卒業
  - メリーランド州立 フロストバーク大学大学院カウンセリング心理学修士課程修了
  - 州立ミズーリ大学コロンビア校より心理学博士号 (PhD. in Psychology) 取得
- 職歴**
  - ノースダコタ州立ノース・セントラル・ヒューマン・サービス・センター子ども課 専任心理士
  - ミズーリ州立フーン病院 インターン心理士
  - バインベルト病院精神科 インターン心理士
  - 州立ミズーリ大学コロンビア校心理学部 非常勤講師
- 賞**
  - メリーランド州立 フロストバーク大学大学院カウンセリング心理学修士課程 [主席卒業] 表彰
  - 州立ミズーリ大学コロンビア校心理学部より「優秀教員」
  - アメリカ心理学学会異文化委員会より「奨学生賞」



「傾聴力」を勉強してみませんか?

### やっさもっさ(仮) 10月号予告

**古林委員長が訪ねた!!**  
～東北の復興状況 生の声～

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「市民の一言」についても、ふらってご寄稿をよろしくお願ひ申し上げます。

やっさもっさチャンネル

今月のやっさもっさ新編の内容は三原テレビにて下記の日程(●)で放送予定です

9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9
17:30	●	●	●	●	●	●
11:30	●	●	●	●	●	●
13:30	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●
22:00	●	●	●	●	●	●

お問い合わせ先

**社団法人 三原青年会議所**

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内  
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール: info@mihara-jc.com  
ホームページ: http://www.mihara-jc.com

三原青年会議所 検索

発行 社団法人 三原青年会議所 編集 総務・広報委員会

社団法人 三原青年会議所新聞

やっさもっさ 第405号  
発行日 2012年9月19日

出会いの友情、そして感動…  
**「笑顔デザインプロジェクト」3日間の軌跡**

第37回三原やっさもっさ祭り 盛大に開催!!

37に届いた。三原やっさもっさの笑顔と元気。

社団法人 三原青年会議所公式サイト <http://www.mihara-jc.com/> e-mail: info@mihara-jc.com 三原青年会議所 検索

本紙「やっさもっさ」は、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。印刷・製本は印刷局に委託しております。

笑顔デザインプロジェクト inみはら

ホームステイ交流 ~この出会いは一生忘れない~

今回の事業についての感想を、ホームステイの受け入れ先を代表して、講師さんと(沼田東町在住)一家に話を伺った。講師さんは現在、沼田東小学校のPTA会長を務められておられ、この度の企画にも積極的に参加して頂いた。



**三原JC** 今回の参加したきっかけは？  
**七海ちゃん** 以前からホームステイをしてみたいと思っていました。友達に誘われて参加しました。三原に来る前はとても緊張していました。  
**三原JC** 3日間三原で過ごしてどうでしたか？  
**七海ちゃん** 講師さんの皆さんがとても優しくかったです。一番の思い出は、初めて打ち上げ花火を見たことです。迫力があってすごかったです。それと、最後のライブで歌ってくれたのがうれしかったです。一生忘れられない体験になりました。



**三原JC** ホームステイを受け入れるって決まった時の気持ちちは？  
**講師さん** 家族全員で話し合っていました。どんな子が来るのかとても楽しみにしてました。  
**三原JC** 3日間一緒に過ごしてどうでしたか？  
**講師さん** 最初に思ったことは、名前の共通点がたくさんあって驚きました。七海ちゃんも明るくて話しやすかったです。七海ちゃんも初めて見る打ち上げ花火と一緒に見られて良かったです。今度は私が留守に行くって約束しました。この出会いは一生大切にしていきたいです。



**三原JC** 3日間ありがとうございました。感想をお願いします。  
**講師さん** やはり最初は震災の被害を受けた子どもたちということで、少し不安でしたが、とても賑やかだったとは思えないくらい元気いっぱいでした。うちの子どものほうが七海ちゃんに引っ張られていたような気がします。それと子どもってすごいなと思いました。出食って3分には笑って話をしていました。七海ちゃんにとっては初めてのやっさ祭りや打ち上げ花火、バーベキューやサプライズでの歌のプレゼントなど盛りだくさんの企画で、最高の夏休みになったのではないのでしょうか。七海ちゃんにも講師にも今回の思い出を大切に思い出に残るような思い出を残してほしいと思います。そしてどんなことがあっても今の笑顔を残さないでほしいと思います。将来子どもたちを連れて大塚町へ行ってみたいと思います。私のほうが力をもらった3日間でした。

今回参加してくれた大塚町の子ども達



- 山崎 歩ちゃん(5年生)
- 山崎 唯ちゃん(4年生)
- 岡谷 紀君(4年生)
- 金崎 優輝乃ちゃん(5年生)
- 黒川 隆斗君(5年生)
- 近藤 心ちゃん(5年生)
- 斎藤 和希君(5年生)
- 佐々木 慎也君(5年生)
- 佐々木 慎君(6年生)
- 田中 蘭ちゃん(4年生)
- 田中 凜ちゃん(6年生)
- 門崎 海ちゃん(5年生)
- 山影 亮太君(6年生)
- 芳賀 千沙ちゃん(6年生)

～事業を終えて～

笑顔デザインプロジェクトinみはらは、三原の子と共に「思いやりの心」を育みたいとの思いも開催させて頂きました。  
 大塚町の子ども達を迎えるに当たり、三原の子も連日、相手のことを思い、何をすべきか、三原の何を紹介したいかを真剣に考えていました。そのようなことを通して「思いやりの心」を育むことに繋がったのではないかと思います。成長過程にある子ども達が、本事業を通じて感じたことは大きいと考えます。達成できた目標、出来なかった目標の両方があると思いますが、何よりそのようなことを考えた経験が心の発育に繋がります。  
 彼らが子どものような思いを返さず、新たな出会いを通して自分の成長を感じることが出来た時、本事業を開催した意義が承れてくるのだと思います。  
 そして何より、本事業を開催するに当たり大きな事故や怪我が無く終わったことは、ホストファミリーを快くお引き受け頂いた三原市の保護者の皆様のおかげです。厚く御礼申し上げます。  
 次世代育成委員会 委員長 吉林 浩明

三原出身ミュージシャン「DJ GEROGIA」 地産インタビュー 「自分が熱くなれるものは何か探し続けよう」



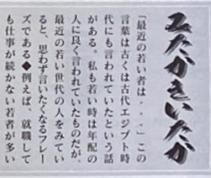
**三原JC** 音楽を始めたきっかけは？  
**DJ GEROGIA** 小学生の時、担任が音楽の先生だったこともあり音楽の楽しさを教えてもらっていました。中学生の時にバンドを結成し、ギターを始めた。高校へ入学した時にはバンドを5つ掛け持ちし、週7日音楽部に通うなど音楽漬けの日々を送っていました。  
**三原JC** 音「自」で毎日する。その頃プロになろうと思われたのですか？  
**DJ GEROGIA** 音楽に対して自分の情熱を傾けようとして、16歳の時テープ1本持参しました。こっぴどい時は友達をよくライブをしていました。その時の情熱と似た感覚を東京のクラブで感じた。そこで、渋谷などのクラブでアルバイトとしてDJを始めました。その当時、偶然アルバイト先でCLIFF EDGEの二人と出会いメンバーに入れてもらいました。それからインディーズデビューを果たすまで5年かかりました。  
**三原JC** そこまで頑張ったモチベーションはどこにあったのでしょうか？  
**DJ GEROGIA** 自分を信じる強さを持っていたことだと思います。また、それはとても大切なことだと思っています。目標があれば突き進むのです。そして、東京に行くと感じたことは人の大きさです。どんなに辛い時や苦しい時でも一緒に笑い合える仲間がいることの強さをあらためて感じました。やはり音楽や仲間が支えとなって頑張ることが出来るのです。  
**三原JC** プロになって変わったことはありますか？  
**DJ GEROGIA** 音楽は自分が思ったことを表現できる「夢をあきらめず突き進む」DJ GEROGIA。今後ますますの活躍が期待される CLIFF EDGE と DJ GEROGIA を応援しよう!!



音楽スクールです。モットーは「楽しくて」、音楽に対する情熱は何も変わっていません。また、辛い、しんどいとも思っていない。ライブなどで自分たちの音楽を聴いて変わってくれることを大切に活動しています。  
**三原JC** やっさ祭りのステージイベントで、若い子どもたちのライブを見ていかがでしたか？  
**DJ GEROGIA** 音楽で二度出したバンドもありました。その時に楽しそうに歌っていたのがすごくいいなと思いました。やっさ祭、音楽を楽しみながらやるものだから、ダンスも同じです。子どもたちの真剣な顔と笑顔が印象的でした。将来、このイベントに出場したチームの中から有名になる子が出てほしいですね。また「自分も負けられない」という気持ちも大事だと思います。  
**三原JC** 子どもたちにメッセージをお願いします。  
**DJ GEROGIA** 自分が熱くなれるものは何か探し続けよう。思いがあればどんな困難も乗り越えられます。また、このやっさ祭りを通過したことは「伝説を引き継いでいくことの大きさ」と「新しいものを作り出す若者の素晴らしさ」です。この2つを併立していることは本気でいいと思います。これからも若者が先頭を切って、このやっさ祭りを盛り上げてほしいです。「夢をあきらめなさい!」

やっさ祭りを終えて…

第37回三原やっさ祭り実行委員会 実行委員長 村上勝安 (三原JC)  
 おかけを待ちまして、今年も三原のまちのメインイベント「三原やっさ祭り」を無事に盛況に終えることができました。大変嬉しくしております。  
 実行委員長という立場で祭りを通り、また前線で祭りを見て来た三原にはずばらしいものが沢山あるということでした。7000名もの踊り手の皆さんによる伝統的なやっさ祭りの舞い、才能溢れるものがまのヒーロー、三原出身ミュージシャンDJ GEROGIAさんや映画監督おかのりさん。夜更けににぎやかに花火会場の真上まで届くような10号玉花火の打上げ。今年も東北の子どもたちにも祭りを楽しんでもらえた。ホームステイ受け入れをしてくださったご家族からは多くの感動のお話を伺っています。そして色々とお困りもありましたが、暑さと時間と戦いながら一緒に祭りを盛り上げてくれた三原のスタッフの皆さん。さらに高校生の方々にも一緒に祭りの運営をしました。行政サービスや市民活動だけでなく、市民の皆さんや寄付によって実施した「三原やっさ祭り」。この市民の力の結集こそが三原の宝だと感じています。  
 また来年のやっさ祭りで会いましょう。また引き続き三原を盛り上げていきましょう。  
 みんなに届け、三原やっさの笑顔と元氣!



三原市役所	三原市立第一中学校	三原市立第二中学校	三原市立第三中学校	三原市立第四中学校	三原市立第五中学校	三原市立第六中学校	三原市立第七中学校	三原市立第八中学校	三原市立第九中学校	三原市立第十中学校	三原市立第十一中学校	三原市立第十二中学校	三原市立第十三中学校	三原市立第十四中学校	三原市立第十五中学校	三原市立第十六中学校	三原市立第十七中学校	三原市立第十八中学校	三原市立第十九中学校	三原市立第二十中学校	三原市立第二十一中学校	三原市立第二十二中学校	三原市立第二十三中学校	三原市立第二十四中学校	三原市立第二十五中学校	三原市立第二十六中学校	三原市立第二十七中学校	三原市立第二十八中学校	三原市立第二十九中学校	三原市立第三十中学校	三原市立第三十一中学校	三原市立第三十二中学校	三原市立第三十三中学校	三原市立第三十四中学校	三原市立第三十五中学校	三原市立第三十六中学校	三原市立第三十七中学校	三原市立第三十八中学校	三原市立第三十九中学校	三原市立第四十中学校	三原市立第四十一中学校	三原市立第四十二中学校	三原市立第四十三中学校	三原市立第四十四中学校	三原市立第四十五中学校	三原市立第四十六中学校	三原市立第四十七中学校	三原市立第四十八中学校	三原市立第四十九中学校	三原市立第五十中学校	三原市立第五十一中学校	三原市立第五十二中学校	三原市立第五十三中学校	三原市立第五十四中学校	三原市立第五十五中学校	三原市立第五十六中学校	三原市立第五十七中学校	三原市立第五十八中学校	三原市立第五十九中学校	三原市立第六十中学校	三原市立第六十一中学校	三原市立第六十二中学校	三原市立第六十三中学校	三原市立第六十四中学校	三原市立第六十五中学校	三原市立第六十六中学校	三原市立第六十七中学校	三原市立第六十八中学校	三原市立第六十九中学校	三原市立第七十中学校	三原市立第七十一中学校	三原市立第七十二中学校	三原市立第七十三中学校	三原市立第七十四中学校	三原市立第七十五中学校	三原市立第七十六中学校	三原市立第七十七中学校	三原市立第七十八中学校	三原市立第七十九中学校	三原市立第八十中学校	三原市立第八十一中学校	三原市立第八十二中学校	三原市立第八十三中学校	三原市立第八十四中学校	三原市立第八十五中学校	三原市立第八十六中学校	三原市立第八十七中学校	三原市立第八十八中学校	三原市立第八十九中学校	三原市立第九十中学校	三原市立第九十一中学校	三原市立第九十二中学校	三原市立第九十三中学校	三原市立第九十四中学校	三原市立第九十五中学校	三原市立第九十六中学校	三原市立第九十七中学校	三原市立第九十八中学校	三原市立第九十九中学校	三原市立第一百中学校
-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------

## 2013年度 理事役員決定

2013年度  
社団法人三原青年会議所  
理事長予定者  
理事長 榎山 泰三



平素より、社団法人三原青年会議所の活動に  
対しまして、皆様からの暖かいご理解とご支援  
を賜りまして心より厚くお礼申し上げます。  
早速ではございますが、2013年度の社団法人  
三原青年会議所の理事役員が決定いたしました  
ので、ここに紹介並びにご報告をさせていただきます。  
社団法人三原青年会議所は、1962年創立以  
来「明るい豊かなまちづくり」を基本理念に、  
常に大きな視点と長期的展望を持って、市民の  
皆様と共にまちづくり活動を展開し続けて参り  
ました。この事は、私たちが青年会議所メンバ  
ーにとって大きな誇りであり財産でもあります。  
2005年には私たちのまちづくり構想、VISION  
「三原の誇り 前方」を掲げ、これからの私たち  
のまちづくりへの指針として提唱してまいり  
ました。三原が主体性を持ち、誇りあるオン  
リーワンの輝くまちを目指して、市民・企業・

行政や各種団体が、それぞれの特徴や機能を活か  
し、協働でのまちづくりが必要であります。  
現在私たちを取り巻く環境は、バブル崩壊から脱  
く経済不況、雇用の確保、少子高齢化社会の到来、  
社会保障問題など、更には昨年起こった東日本大震  
災及び原子力発電の安全性の問題など、閉塞感が  
漂っている状況にあります。そのような中でも、私  
たちは青年会議所メンバーとして、また責任世代  
の人間として、自分たちの住むまちを自分たちの手  
で明るい未来を感じることができるとしてゆくた  
めにも、協働の考えに基づき、積極的に活動してゆ  
く我々の役割、責任は大きいものと考えます。  
そこで、2013年度 社団法人三原青年会議所は、本  
年度のスローガン「原点回帰 創始の志をもって進  
出した確かな一歩を踏み出そう」の志を受け継ぎ、  
市民の皆様と共に地域の未来を見据えたまちづくり  
や、地域の宝である子どもたちを地域で育み、将来  
三原を愛する大人に育ててゆくために、これまで  
取り組んできた運動を更に充実してゆけるよう勇気  
と情熱をもって活動してまいります。そして本年創  
立50周年という大きな節目を迎えることができ、こ  
れも偏に市民・企業・行政の皆様、関係各位のお蔭  
であると深く感謝し、気持ちを新たに次代へつなげ  
てゆきたいと考えます。  
最後になりましたが、先輩諸兄の築いてこられた  
歴史と伝統を継承しつつ、会員一丸となって活動し  
てまいります。今後とも引き続き、皆様からの暖か  
いご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し  
上げます。

## 2013年度 社団法人三原青年会議所 | 役員名簿 |

役職	名	前
理事長	榎山 泰三	
酒前理事長	小林 正典	
特別理事	荻路 新吾	
〃	阪井 健太郎	
副理事長	桐島 勝利	
〃	倉橋 英治	
〃	竹光 亮彦	
〃	竹本 明弘	
専務理事	大石 努	
理事	笹井 健司	
〃	富田 伸博	
〃	新田 圭司	
〃	伊本 和宏	
〃	三好 慎一	
〃	向井 浩一	
セクレタリー	松本 浩明	
〃	森川 浩一	
監事	村上 睦宏	
〃	矢崎 昌樹	

## 市民のヒトコト言ひたい

### ■ 市内在住Aさんから頂いた意見(抜粋)

まだ企業誘致を叫んでいるのは、正直情けないと思いました。  
三原の過去を見ると、昔はトスコ、帝人、三菱といった大手企業  
の企業城下町でした。  
しかし大手企業は、利益が上がらないと縮小、撤退をします。  
当然、まちのことや市民のことなど考えていません。それが現在の  
三原です。  
過去の失敗を繰り返さない為には、市内の優良企業を後押しし、  
市内の中小企業をテコ入れて発展させてはどうかと思います。  
次に観光開発です。市内の工業団地を市内の企業が買い取れし、  
食品、工業品などのまちづくりの観光工業団地にしようという。また、  
華厳山の登山道や佛通寺へ通じる道も観光遊路にしよう。久井の岩  
舟も観光コースに、遊覧船も観光遊路にしよう。宿泊は今のところ  
まはら山温泉に、観光一辺倒のまちづくりで三原市独自で生きている  
道を考えるべきです。

やっさもっさも8月号に掲載した「三原フェニックスプラン(企業誘致の促進)」に  
対して読者からのご意見を頂きましたので、当青年会議所の見解をお伝えします。

大変貴重なご意見ありがとうございました。過去から現在にかけての  
大手企業の歴史や現状を考える中で、今後も継続的に企業誘致を続けてゆ  
かなければ、三原市の経済は縮小の一途を辿るのではないかと危惧して  
います。  
新工場を誘致している三原市内の企業はあると思いますので、市内の企業を  
バックアップしてゆくことは大切だと思います。そして、市内中小企業の  
テコ入れに関しては、平等性と財源の確保の観点から、慎重な判断が必要  
であると考えます。  
また「三原は何もないまち」と言われる三原市民も異受けられますが、A  
さんのおっしゃる通り、観光名所や誇るべき特徴は数多く存在しますの  
で、我々も当紙面を通じて提言したいと考えていました。例えば、人口に  
対するお好み焼き店の数の割合は日本一です。昨今は、全国的に「おし  
い」広島キャンペーンを通して「三原のタコ」も広まっていると感じ  
ています。  
三原のまちづくりについて、さまざまな面で考えるべき点や行動すべき  
点があるように思います。今後も継続して検討してゆくべきことであり、思  
いつく限りのチャレンジをこそ、発展につながるかと考えます。

## やっさもっさも(風言風)

11月号予告  
特集!!  
東日本大震災からの復興

やっさもっさもでは、皆様のご意見・ご感想  
をお待ちしております。また、読者投稿欄「市  
民の一言」についても、ふらっとご投稿を  
よろしくお願ひ申し上げます。

## やっさもっさもチャンネル

今月のやっさもっさも新聞の内容は  
三原テレビにて下記の日程(※)で放送予定です

日	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14
7:30							
11:30							
13:30							
17:00							
19:30							
22:00							

お問い合わせ先  
社団法人 三原青年会議所  
〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内  
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141  
Eメール: info@mihara-jc.com  
ホームページ: http://www.mihara-jc.com  
三原青年会議所 検索

# 第2回 市民討議会開催!!



## やっさもっさも

第406号  
発行日 2012年10月1日



## 三原市の財政に不安は?



# あなたが子育てに求めるものは?!

社団法人 三原青年会議所公式サイト <http://www.mihara-jc.com/> e-mail: info@mihara-jc.com 三原青年会議所 検索

本紙「やっさもっさも」は、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。 ※印刷原稿のため写真加工をしております。



三原の企業が元気になるれば、三原も元気になる！



社団法人 三原青年会議所主催  
経営セミナー

未来工業 (株) 創業者  
山田 昭男氏講演会

「常に考える。」仕事術は誰でも、いつでも、どこでもマネできる。  
「常に考える。」習慣が、いい仕事に結びつく！  
**「常に考える。」型破り経営論！**

TV 東京系  
「カンブリア宮殿」等  
TV 出演で大反響の  
経営論とは？

高収益なのに、日本で一番労働時間が短く残業もゼロ。  
ところがなぜか社員の給料は地域でもトップレベルを誇る  
未来工業。その秘訣にある未来工業のローガン  
「常に考える。」とは何か是非、数々のユニークな経営論を  
この機会にお聞きください。

2012年11月16日(金)

あなたの周りに必ずある「スイッチボックス」の国内シェア80%!  
日本一休日が多い会社と言われる「未来工業」の創業者、山田 昭男氏が語る!  
「ホウレンソウは必要ない!」「管理しないから人がうごく!!」  
目からウロコの経営術!  
いつでもだれでもどこからでもマネできる「考える経営術」のヒントをつかむ!  
三原の企業が元気になるれば、三原のまちも元気なまちに!  
そんなチャンスがここにある!

**参加費無料!**

日時 **11月16日(金)**  
受付 18:30~  
開会 19:00 終了 21:00

会場 **三原市ゆめきやりあセンター  
1F多目的ホール**

■参加方法  
三原青年会議所ホームページにて申込書をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上FAXにてお申し込みください。  
担当 拡大・研修委員会 若西

講師プロフィール **山田 昭男 氏**  
1931年 上海に生まれる  
1945年 父籍の会社に入社  
1965年 未来工業設立 代表取締役社長就任  
1989年 黄綬褒章受章  
1991年 名古屋証券取引所市場2部上場  
1999年 大垣市功労賞受賞  
2000年 相談役に就任  
2001年 勲五等双光旭日章受章

著書  
・日本いちばん社員がやる気がある会社  
・日本一社員がしあわせな会社のへんなきまり等  
その他  
・TV出演多数 テレビ東京系 カンブリア宮殿にも出演  
・読本光栄著 日本いちばん大切にしたい会社2にて紹介  
・第1回日本いちばん大切にしたい会社大賞  
経済産業省大臣賞受賞企業

**和の文化**  
日本は和の国と言われる。日本は和の文化から、家族の和、地域の和、国同士の和、大自然との和など、様々な次元における和を大切に育んできた。大相親王の「天和」が大きい和と書くことも、偶然ではないかも知れない。◆◆◆、日本の家庭には笑いが、国際社会と良好な関係を築きながら、大自然との調和を表現してきた。いずれも出発点は和の精神文化であって、これは日本の大きな特徴の一つである。しかし和とは、ういう概念なのかを誤解してはならない。◆◆◆、和は七条の憲法の第一と記した。その和とはただ単に仲よくするだけでなく、長いものに倣う、という消極的な意味合いでもなく、主体性を堅持しながら他と協調することを意味し、お互いがいがみ合うこと、互いを尊重し合うこと、正しい道理を導き出すことを目指している。人間は完全な生き物ではない。助け合うことで不完全さを補う。◆◆◆、和の精神は、和の文化の根幹。◆◆◆、日本人が日本人を好む理由の一つに、現代の日本からは失われつつあるように思う。和の国として、世界に愛される。和の国として、相応しい精神的気質を取り戻すべきではないだろうか。

社団法人 三原青年会議所新聞

**やっさもっさ**  
第407号  
11月 2012年11月1日

**東日本大震災を風化させない**

名物の鳥餅

復興のシンボルとなっている「大相町 復興食堂」

社団法人 三原青年会議所公式サイト <http://www.mihara-jc.com/> e-mail: [info@mihara-jc.com](mailto:info@mihara-jc.com) 三原青年会議所 検索

本紙「やっさもっさ」は、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。 ※郵政関係のトラブル発生を防止いたします。

**やっさもっさ(伝言板)**

12月号予告  
**カレーライス会で五藤市長は何を語る?!**

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「市民の一言」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願ひ申し上げます。

**やっさもっさチャンネル**

今月のやっさもっさ新聞の内容は三原テレビにて下記の日程(●)で放送予定です

11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11
7:30						
11:30						
13:30						
17:00						
19:30						
22:00						

お問い合わせ先  
**社団法人 三原青年会議所**  
〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内  
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール [info@mihara-jc.com](mailto:info@mihara-jc.com)  
ホームページ <http://www.mihara-jc.com>

三原青年会議所 検索

■発行 社団法人 三原青年会議所 ■編集 総務・広報委員会

# 田口教授が語る!!岩手県大槌町の現状とは…

次世代育成委員会 吉林浩明委員長は「美観デザインプロジェクト(8月10日~14日で開催)」に参加した子ども達を送るため、岩手県大槌町まで引率した。そこで偶然、岩手大学の田口教授と居合わせ、震災から1年半、復興を目指して必死に頑張っている住民の「真の姿」について話を聞くこととなる。今回はその内容についてレポートする。



**田口 典男 氏**

岩手大学  
人文社会科学部教授、博士(経営学)  
1996年、2002年イギリス・キール大学学務関係・人的資源管理学部研究員  
岩手地方労働組合・会長  
岩手県高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会・会長等歴任

## 田口教授と大槌町「復興への道のり」

田口教授は、2011年5月、初めて現地に入り、その後、大槌町を中心に調査。大槌町の水産加工業者の4人が再生プロジェクトを立ち上げたのをネットでも知り、2011年12月頃からこの4人のプロジェクト「新・おおつろ漁協」(ハローワーク釜石)などを中心に調査。大槌町からの要請により、4人のプロジェクトが協同組合となったのは、2012年5月。

### 被災地は何も変わっていない

2011年東日本大震災で町全体が壊滅的な被害を受けた岩手県大槌町の現状は、被災時とほとんど変わっていません。もちろん、崩壊寸前の家屋は撤去され、瓦礫は一方所に集められ、被災前の町を知らない者にとってどこが壊滅的な被害を受けたのかよく分からないのも実態としてあります。

### 変わりたくても変えられない

しかし、津波で流された家屋の跡地には家の土台が残ったままになっています。「一家全員がなくなった」「地震によって土地がずれただけで、家と家の境界線がはっきりしない」「土地登記簿と実測値に差がある」という理由で、土台が残っていました。この土台を見るたびにここで生きていた人たちのことを思い、本当に胸が痛くなります。普通に暮らすという心がどこにも残っていないのかを考えさせられます。

### 復興をリードする4人の水産加工業者

東日本大震災による津波は、漁船、港設備、加工処理場などを破壊し、大槌町の経済を支えていた漁業及び水産加工業へ甚大な被害を与えました。このような状況において2011年5月に4人の水産加工業者が大槌町の漁業及び水産加工業を再生するために大槌町水産加工

### 課題の解決へ向けて…

たったひとつの事例かも知れませんが、大槌町の再生の芽がここにあるのではないかと考えています。もちろん「土地計画及び土地利用の確立」「販売ルートの確保」などの課題も山積していることは承知していますが、人間の営みの速さには期待しています。



### どんどん東北に来てほしい

「関係のない人間が用事もないのに被災地を訪れてはいけぬ」と感じる方も多くはありますが、私が聞く被災地の多くの声は「気楽に来て欲しい」「旅行で良いから来て欲しい」というものです。機会がありましたら、東北にお出かけ下さい。今年はおもてなすつもりで「仙台たなばた」「秋田芋灯」「青森ねぶた」等々の多くの夏祭りが東北にはあります。

### 田口教授が聞いた地元住民の生の声

**水産加工業者** 震災直後、仕事を再開させたが加工設備なく、せっかく獲った魚を加工することができず、海に捨てざるをえなかったことは本当に辛かったです。  
**一般市民** どこまで復興したい、何が復興していないのか、今の現実の大槌町を、一人でも多くの方に見てもらいたいです。  
**新・おおつろ漁協** 人、資金、アイデア等々、すべてが足りぬ状態です。完全な復興までまだまだ時間がかかると思います。

### 三原青年会議所として

今回は経済復興の視点を伺いましたが、復興への道のりはまだまだ遠いと感じました。今後ともこういった繋がりや大切にして、東北の情に精通しながら、復興支援を行ってゆきたいと思っております。  
**風化させてはいけません!!**

# 三原は本当に安全なのか?

## 3・11と防災意識

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、地震や津波などの自然災害に対する備えや心構えが大切であることを改めて感じさせる出来事でした。しかし、三原は比較的被害が少なく済んだように感じている方も多いのではないのでしょうか。実際に、市内の小中学校の耐震化率は58% (H24.4.1)、全国平均の84.8%と比較しても、地震に対する心構えが高い地域と比べて低い数値になっています。今後とも、地震に対する備えを続ける必要があります。

## 2001年甚予地震

歴史をひもとくと、三原でも多くの自然災害が発生しており、地震に関しては大きな被害が発生しているものがあります。近年では2001年に発生した甚予地震において、震度5強(三原市)を記録しました。家庭被害では瓦が落ちるなど事例が発生し、町一帯においては、地震の揺れのために液状化現象が発生しました。

## 大きな被害をもたらす南海地震

過去に大きな被害を三原にもたらした地震は、大きく分けて2つの震源地で発生しています。ひとつは安芸灘で発生する甚予地震です。そして、もうひとつは南海トラフを震源とする南海地震です。特に南海地震は100年~150年周期をもち、西日本に地震や津波で多くの被害をもたらしています。過去、三原においても南海地震の発生により、多くの被害が発生しています。

(参照:三原の中世・近代の地震年表)

1649年 3月17日	慶安甚予地震	
1666年 3月4日	慶安甚予地震	三原の石垣が守り
1707年 10月28日	宝永地震(南海地震)	三原の石垣が守り
1854年 12月24日	安政南海地震	震度5、被害相当
1905年 6月2日	1905年甚予地震	
1946年 12月21日	南海地震(MB0)	震度5~4
2001年 3月24日	甚予地震	震度5強

## 過去に起こった南海地震

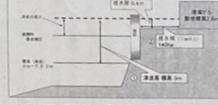
1707年(宝永4年)に発生した宝永地震では、三原でも震度5~6(推定値)の揺れがあり、三原城の石垣が破損し大規模な修復が必要となりました。また、1854年(嘉永7年)に発生した安政南海地震では、三原市内でも甚大な被害が発生し、人々は神仏に祈りを捧げたという資料もあります。そして、1946年にも南海地震が発生しています。南海地震では、甚予地震とともに、大きな被害が予想されるうえに、周期的に発生する地震でもあります。

## 3メートルの津波が来る?

三原における過去の津波被害については、自立的な被害の記録はありません。しかし、いままでは被害が少なかったからと言って、次に起こる南海地震で被害が発生しないとは言えません。今年、政府の中央防災会議は、東日本大震災をうけて、これまでよりも大きな被害を予想を発表しました。三原においても震度6強で津波は最大3メートルのものが到来することが予想されています。これを受けて広島県でもこれまでの被害を再検討し、津波に対するハザードマップが2013年度に発表される予定です。

## 津波高3メートルとは

予想されている「3メートルの津波」とは、海抜0メートルから3メートルの高さの津波を言います。満潮の差が激しい瀬戸内において、高潮時には海抜2メートルほどの海面になります。実際に、3メートルの津波が到来したとしても、現在の最高水位より1メートル高い海面になるという場合です。仮に堤防などが機能しなくなった場合は、標高3メートル以下の地域においては備えが必要であるとされています。



今回公表 津波高・浸水深・浸水域について

## 三原における防災

地震や津波よりも、三原にとって土砂崩れや高層の発生が多くの被害をもたらすと予想されています。これに対してまず大切なことは、自分たちのまわりの危険な場所を知ることであるとされます。H22年3月に三原市内全戸に対してハザードマップが配布されました。このハザードマップこそが、私達のいのちを守る情報ではないでしょうか。



今年8月に設置された標高表示

三原市危機管理室では、地域の防災力を高めるための出前講座も積極的に行なっており、そのなかでハザードマップによる地域の災害予想についても説明しています。この出前講座を十分に活用して、まずは自らの地域の防災を考える土台とすべきではないでしょうか。

## 備えあれば憂いなし

自然災害についての備えは、行政が行なうものもありますが、基本は個人や町内会などの自治組織が率先で行うべきだと考えられます。現在、三原市において自主防災組織の編成率は43.8% (10月時点)です。しかも、津波被害などの発生が予想される三原市中心部において自主防災組織の結成が立ち遅れているという事実があります。

地震・津波・土砂崩れ・水害など、天変地異はいつどこで発生するかわかりません。それは明日かも知れませんし、どの地域だから安全という確証もありません。

私たちのまちを私たちが守るためには、私たちが防災のために何ができるかを改めて考え、行動を起こす必要があります。まずは家庭から、そして地域で。そして行政と連携することで、私たちの安全は守られるのではないのでしょうか。

三原市	三原市役所	三原市立第一中学校	三原市立第二中学校	三原市立第三中学校	三原市立第四中学校	三原市立第五中学校	三原市立第六中学校	三原市立第七中学校	三原市立第八中学校	三原市立第九中学校	三原市立第十中学校	三原市立第十一中学校	三原市立第十二中学校	三原市立第十三中学校	三原市立第十四中学校	三原市立第十五中学校	三原市立第十六中学校	三原市立第十七中学校	三原市立第十八中学校	三原市立第十九中学校	三原市立第二十中学校	三原市立第二十一中学校	三原市立第二十二中学校	三原市立第二十三中学校	三原市立第二十四中学校	三原市立第二十五中学校	三原市立第二十六中学校	三原市立第二十七中学校	三原市立第二十八中学校	三原市立第二十九中学校	三原市立第三十中学校	三原市立第三十一中学校	三原市立第三十二中学校	三原市立第三十三中学校	三原市立第三十四中学校	三原市立第三十五中学校	三原市立第三十六中学校	三原市立第三十七中学校	三原市立第三十八中学校	三原市立第三十九中学校	三原市立第四十中学校	三原市立第四十一中学校	三原市立第四十二中学校	三原市立第四十三中学校	三原市立第四十四中学校	三原市立第四十五中学校	三原市立第四十六中学校	三原市立第四十七中学校	三原市立第四十八中学校	三原市立第四十九中学校	三原市立第五十中学校	三原市立第五十一中学校	三原市立第五十二中学校	三原市立第五十三中学校	三原市立第五十四中学校	三原市立第五十五中学校	三原市立第五十六中学校	三原市立第五十七中学校	三原市立第五十八中学校	三原市立第五十九中学校	三原市立第六十中学校	三原市立第六十一中学校	三原市立第六十二中学校	三原市立第六十三中学校	三原市立第六十四中学校	三原市立第六十五中学校	三原市立第六十六中学校	三原市立第六十七中学校	三原市立第六十八中学校	三原市立第六十九中学校	三原市立第七十中学校	三原市立第七十一中学校	三原市立第七十二中学校	三原市立第七十三中学校	三原市立第七十四中学校	三原市立第七十五中学校	三原市立第七十六中学校	三原市立第七十七中学校	三原市立第七十八中学校	三原市立第七十九中学校	三原市立第八十中学校	三原市立第八十一中学校	三原市立第八十二中学校	三原市立第八十三中学校	三原市立第八十四中学校	三原市立第八十五中学校	三原市立第八十六中学校	三原市立第八十七中学校	三原市立第八十八中学校	三原市立第八十九中学校	三原市立第九十中学校	三原市立第九十一中学校	三原市立第九十二中学校	三原市立第九十三中学校	三原市立第九十四中学校	三原市立第九十五中学校	三原市立第九十六中学校	三原市立第九十七中学校	三原市立第九十八中学校	三原市立第九十九中学校	三原市立第一百中学校
-----	-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------